

もくじ

- ・ みにくいアヒルの^こ子

みにくいアヒルの^こ子

げんさく
原作： アンデルセン^{どうわ}童話

イラスト： かつなが みつとし

へんしゅう
編集： YellowBirdProject

ある、夏の暑い日。農場の池のほとりにある、茂み
 の中で、一羽のアヒルが、卵を温めていました。

まもなく、卵が一つ、また一つと割れ始め、中から
 黄色い羽の、かわいらしいひな鳥たちが顔をのぞかせ
 ました。

「まあ、かわいい子どもたち」

お母さんアヒルは目を細めて、ひな鳥たちの羽を
 くちばしでつくろいました。

しかしよく見ると、ひな鳥たちの中に一羽だけ、他の
 ひな鳥たちとはどうも姿の違う子がいました。他の
 ひな鳥たちよりも、ひとまわり体が大きく、羽の色も
 黄色ではなく、薄汚れた灰色をしていました。



5

時が経つにつれて、だんだんと、そのひな鳥は、他の兄弟たちからいじめられるようになっていきました。

「お前は、みにくいね。本当にぼくたちの兄弟なのかい？」

「お前みたいに変なアヒルとは、遊んであげないよ」

みにくいアヒルの子は、涙を流しながら、水面に映った自分の姿を見つめました。

「ああ、どうしてぼくだけ、こんなにみにくい姿をしているんだろう。みんな、ぼくなんていなくなればいいと思っているんだ」

みにくいアヒルの子は、みんなの前から姿を消すことにしました。

